大動脈解離・胸部大動脈瘤のため、当院に入院・通院された患者さんの術中病理血管標本および診療情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者　所属　予防医療センター 職名 専任講師
氏名　清水良子
連絡先電話番号 03-6910-3533
実務責任者　所属　予防医療センター職名専任講師
氏名　清水良子
連絡先電話番号 03-6910-3533

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの術中病理血管標本および診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「８　お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

１　対象となる方

西暦 2006 年 1 月 1 日より 2019 年 12 月 31 日までの間に、当院心臓血管外科にて大動脈解離・胸部大動脈瘤の診断、治療のため入院し、治療のための手術を受けた方

２　研究課題名

承認番号　20190257
研究課題名　細胞老化と大動脈解離発症の関連の検討

３　研究実施機関

慶應義塾大学医学部予防医療センター・心臓血管外科・病理学教室・救急医学教室、慶應義塾大学病院病理診断部

４　本研究の意義、目的、方法

大動脈解離は血管が裂けることにより生命の危機を招く疾患であり、現在は主に外科的治療が必要とされています。大動脈解離の危険因子として年齢などが挙げられていますが、現在、この病気

の病態生理の研究はあまり進んでおらず、何が原因となって血管が裂けてしまうのかはっきりしたことはわかっていません。私たちはこれまでの基礎研究から、大動脈を構成する血管平滑筋細胞が老化することで（細胞老化）炎症が起こりやすくなることが大動脈解離の発症に関係するのではないかという可能性を見出してきました。

そこで本研究では、大動脈解離の手術治療をお受けになる方およびその対照として未破裂の胸部大動脈瘤の手術治療をお受けになる方を対象として、手術で摘出除去される患部血管の余った部分を使って細胞老化の状態を解析することで、細胞老化が大動脈解離発症に係る可能性を調べます。またそのメカニズムとして DNA メチル化を調べます。本研究の成果により、将来、細胞老化のシグナルを阻害する薬剤を使った大動脈解離の薬物治療に発展させることが期待されます。

５　協力をお願いする内容

当院において大動脈解離・胸部大動脈瘤に対して血管置換術を受けた患者さんの手術中に病理診断を行うために採取した大動脈組織パラフィン標本の余った部分を本研究の解析に使用させていただきます。また通常診察の診療記録、臨床検査データ（血液、尿）、診断用画像（胸部を CT）を使用させていただきます。

６　本研究の実施期間

倫理委員会承認後～2025 年 3 月 31 日

７　プライバシーの保護について

1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
2) 本研究で取り扱う患者さんの大動脈組織パラフィン標本および診療情報は、個人情報をすべて削除し、第３者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
3) 患者さんの個人情報と、匿名化した大動脈組織パラフィン標本および診療情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

８　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学予防医療センター（担当：清水良子）
住所　〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35
電話　03-6910-3533

以上